

## ウラジオストクの景色

国際文化学科 2年 伊藤さくら

私は、現地に着くまでウラジオストクという街をよく知らず、イメージすらあまり持っていませんでした。海外に行くこと自体が初めてだったので、何もかもが新鮮で、驚くことや戸惑うこともありました。日本では見るできない景色をたくさん見てきました。

まず留学が始まってロシア人学生に大学の周りや街を案内してもらって驚いたのは、車の多さと速さ、歩行者が信号を渡る時間の短さでした。大学の近くのスーパーへ行く道にある信号は10秒くらいしか渡る時間はありませんでした。しかし、信号のない横断歩道を渡ろうとすればちゃんと車は止まって渡らせてくれます。

そして、ウラジオストクは坂の街と言われるだけあって坂が多く歩き回るととても疲れます。でもその代わり、高い所に上ると景色が非常に綺麗でした。大学から15分くらい歩くと「鷹の巣展望台」という有名な観光地があるのですが、そこは街が一望できるスポットでお土産屋もあるため、何回か行きました。冬、早朝5時に起きて景色を見に行ったこともありました。当然ものすごく寒かったのですが、キラキラした街並みと大きな橋がとても輝いていて感動しました。また、ウラジオストクは海も自慢です。夏は強い日差しで30℃近くまで気温が上がりとても暑さは厳しいのですが、青い空と太陽が反射する海を眺めながら散歩するのは気持ちが良かったです。逆に、冬はマイナス20℃ほどにもなり厳しい寒さでしたが、凍った海の上を歩くという貴重な体験ができ楽しかったです。

秋の紅葉も魅力の一つです。ある日、授業で先生に教えてもらった植物園に行こうという話になり、いつも私たちを案内してくれるロシア人の付き添いなしで私たちだけで長い時間バスにゆられて行ってみました。10月の下旬はもうとても寒くて、写真を撮る手がかじかんで感覚がなくなるほどでしたが、非常に広い敷地内にたくさんの植物、散歩道、池、小さい公園などがあり素敵な場所でした。広すぎて全部を見て回ることはできなかったのですが、みんなで本当にたくさんの写真を撮りながら歩いて楽しい思い出ができました。

約4カ月という短い期間ではありましたが、この街の魅力をたくさん発見することができました。もし機会があれば、いつか春のウラジオストクにも訪れてまだまだ私の知らない景色に出会ってみたいです。この留学を支えてくださったすべての方々に感謝しています。С п а с и б о !



